

盲導犬 小中学校キャラバン

〈2019年度 実施要項〉

※こちらの資料は日本盲導犬協会との打ち合わせで使用いたしますので保管をお願いします。

公益財団法人 日本盲導犬協会



盲導犬小中学校キャラバンとは

将来を担う子ども達に、
盲導犬や視覚障害の正しい知識を身につけていただくこと、
そして、盲導犬ユーザーが暮らしやすい街づくりを目指して、
参加した子ども達が、将来的に見たときに
あたりまえのように視覚障害者のお手伝いができるようになること
を目的としています。

日本の盲導犬の現状

視覚に障がいのある方	約 30 万人
盲導犬を必要とされている方	約 3000 人
盲導犬の実働数	約 1000 頭

平成14年に身体障害者補助犬法が施行され、補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）の受け入が義務付けられました。また、平成28年4月には、障害者差別解消法が施行され、国の行政機関や地方公共団体及び民間事業者による「障害を理由とする差別」をしてはならないことも定められました。

しかし、まだ理解が進まないのが現状で、補助犬の入店拒否・乗車拒否が繰り返されています。

中でも、盲導犬は、名前こそ知られてきたものの、間違えた知識が広まってしまっていたり出会った時のマナーが浸透していなかったりすることから、事故につながるケースも少なくありません。

実施内容1

- 日程 : 7月末までにご依頼ください。
- 実施時間 : 〈午前〉 10:30頃～12:00頃まで / 〈午後〉 13:30頃～15:00頃まで
- 会場 : 各学校の体育館など(屋内)
- 対象学年 : 小学校4年生
- 協会对応人数 :
 - 職員もしくはデモンストレーター 1～2名
 - 盲導犬ユーザー 1名
 - 盲導犬 1頭※デモンストレーターとは特別な研修を受けたボランティアスタッフのことです。
- 東京みなとRC人数 : 3～5名



実施内容2

●実施内容

①あいさつ(協会スタッフの紹介)

②視覚障害についての話

- ・目が見えない、見えにくいとは、どんな見え方か
- ・視覚障害者が歩行に必要な情報を得る手段について

③盲導犬についての話

- ・盲導犬の仕事内容
 - ・盲導犬の訓練方法
- 等

～休憩～

④体験歩行

手引き歩行・・・代表 3名まで

※手引き歩行:目が見える人が誘導する歩行方法

→代表の子どもに盲導犬ユーザーのことを

実際に案内していただきます。

※体験コースについては当日の環境により異なります。

⑤盲導犬ユーザーの生活について

- ・日頃どのような生活をしているか
- 等

⑥質疑応答

⑦まとめ

終了

※内容は、時間等の関係で変更する場合がございます。



活動の様子



○手引き歩行体験

視覚障がい者の正しい誘導方法を学びます。

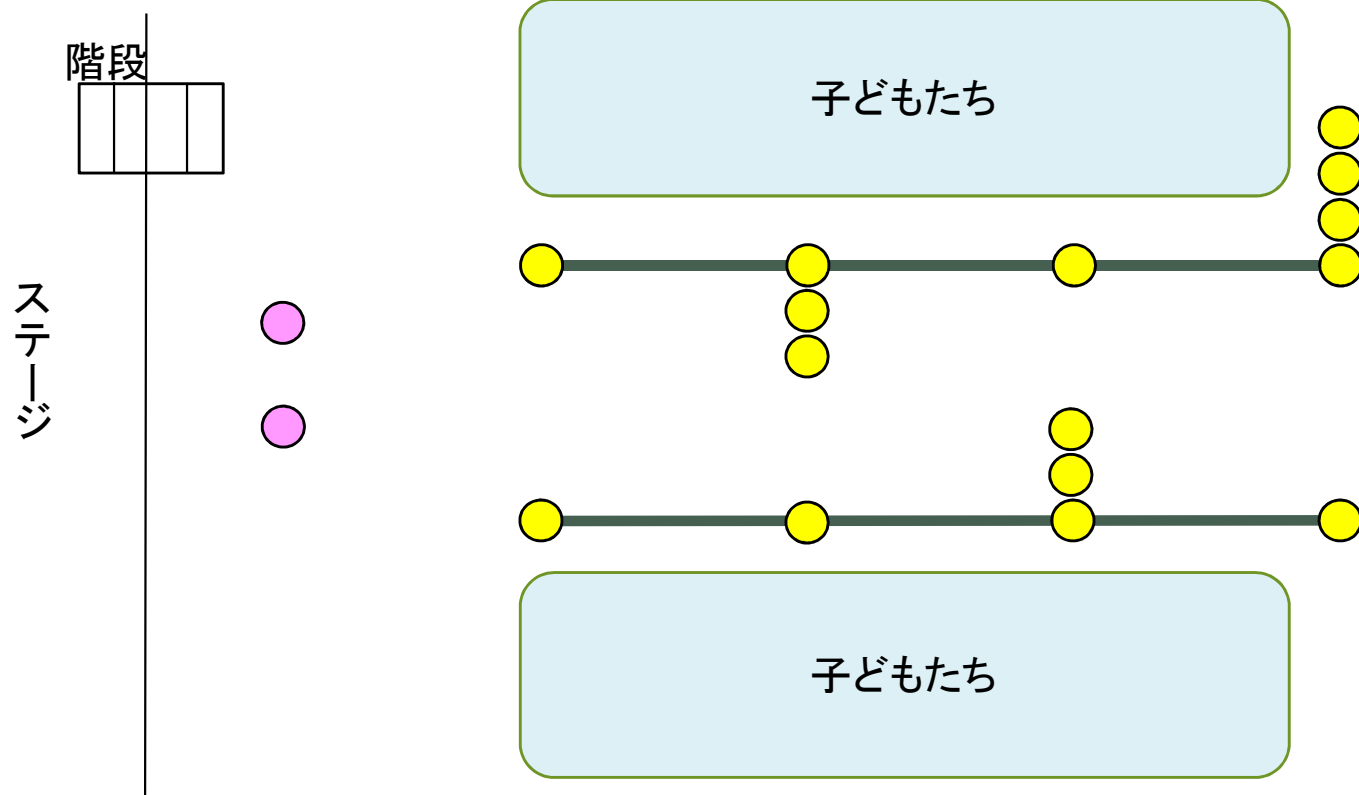


○盲導犬について知る

盲導犬のお仕事紹介や、盲導犬ユーザーの日常生活について等をお話する機会を設けます。

会場レイアウト

● …協会スタッフ ● …カラーコーン — …バーor平均台



教員の皆様へお伝えすること

- 事前配布資料は講演時は使用いたしませんので、予習・復習用にお使いください。
- 活動の様子を写真に撮ることがあります。
※ロータリークラブの活動報告として写真を使用する場合は、個人の特定ができない写真を使用いたします。
- 講演中には、メモをとっていただいても構いません。
- 講演時、体育館内が暑く・寒くなるようでしたら、エアコンの使用をお願いすることもございます。
※エアコンがある学校のみ
- あらかじめ障害物コースのセッティングをお願いいたします。
体育館の使用状況等によりセッティングができない場合は、隅にご用意いただければこちらでセッティングいたします。

～お願い～

ユーザーの移動時の安全確保のため、生徒の皆様に
「ハーネスを着けている盲導犬には、触らない・声をかけない」ということの徹底をお願いいたします。